

東北地方 1か月予報

(8月9日から9月8日までの天候見通し)

平成15年8月8日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>
向こう2週間程度は気温が低く、日照時間の少ない状態が続くところがある見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。
期間の前半は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や寒気の影響で天気がぐずつくでしょう。後半は、天気は概ね周期的に変わるでしょう。
向こう1か月の気温は平年並か低い、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並か少ないでしょう。

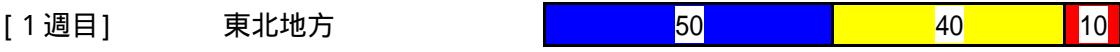
週別の気温は、1週目は低い、2週目は平年並か低い、3～4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月 9日(土)～ 9月 8日(月)
1週目 : 8月 9日(土)～ 8月 15日(金)
2週目 : 8月 16日(土)～ 8月 22日(金)
3～4週目 : 8月 23日(土)～ 9月 5日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は8月15日
3か月予報:8月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	22.4	211.5	147.5	23.3	23.0	22.0
新庄	23.1	164.6	162.5	24.3	23.9	22.5
若松	24.0	125.1	184.3	25.1	24.8	23.5
深浦	22.4	168.4	178.0	23.5	23.1	21.9
青森	22.3	132.3	182.0	23.4	22.9	21.8
むつ	21.0	152.8	145.0	22.0	21.5	20.6
八戸	21.7	155.5	161.9	22.7	22.2	21.2
秋田	23.7	187.3	192.5	24.9	24.6	23.2
盛岡	22.3	176.9	147.9	23.6	23.2	21.7
宮古	21.6	189.8	152.4	22.5	22.2	21.3
酒田	24.1	184.9	199.3	25.3	25.0	23.6
山形	23.8	146.0	172.5	24.9	24.6	23.2
仙台	23.5	181.8	144.1	24.3	24.0	23.1
石巻	23.0	134.0	165.7	23.7	23.5	22.6
福島	24.5	144.3	146.6	25.5	25.1	24.0
白河	22.6	229.4	144.5	23.5	23.2	22.2
小名浜	23.7	149.8	182.8	24.0	24.1	23.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	74~119	90~108
東北日本海側	-0.4~+0.6	77~109	91~108
東北太平洋側	-0.3~+0.5	69~119	88~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+1.0	-0.6~+0.8	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.8~+0.9	-0.6~+0.8	-0.6~+0.7
東北太平洋側	-0.7~+1.1	-0.6~+0.9	-0.4~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年8月8日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(8月9日~9月8日) :

期間の前半は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や寒気の影響で天気がぐずつくでしょう。後半は、天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(8月9日~8月15日) :

明日(9日)は台風第10号の影響で大荒れの天気となる見込みです。明後日(10日)後半からは、高気圧に覆われて概ね晴れますが、気圧の谷の影響で曇る日もあるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2週目(8月16日~8月22日) :

低気圧や寒気の影響で天気がぐずつきますが、高気圧に覆われて晴れる日もあるでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3~4週目(8月23日~9月5日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

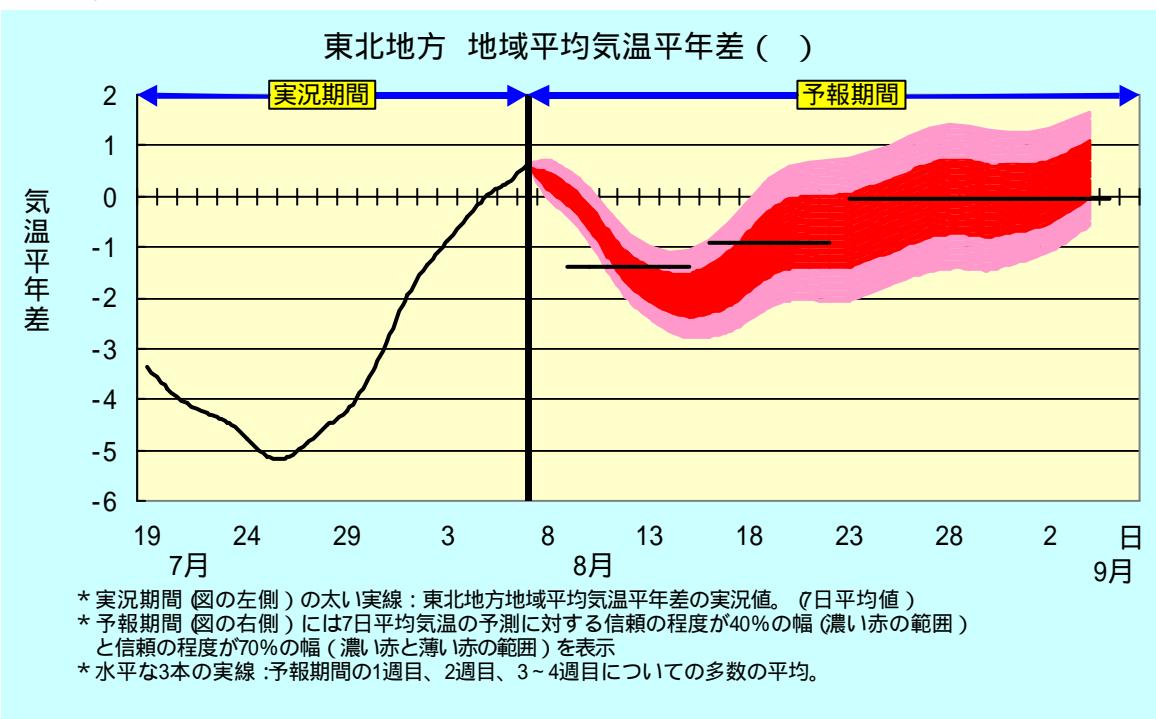
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.2日	4.5日	4.0日	7.7日
東北太平洋側	14.0日	3.9日	3.4日	6.7日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目は、「低い」3~4週目は「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か低い」と変更する。なお、数値予報の信頼度は小さい。

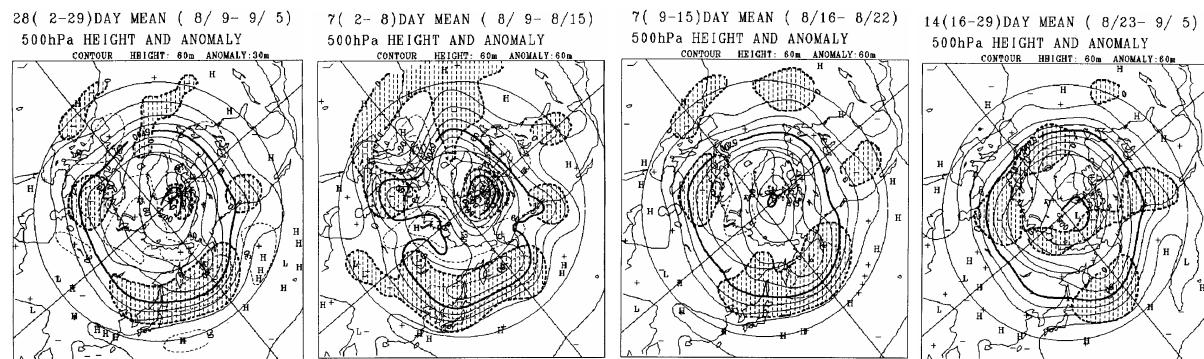


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、シベリアから北極海に正偏差。太平洋高気圧は日本の南で強いが、日本付近は東西に伸びる負偏差に覆われ、平年に比べて曇りや雨の日が多い見込み。

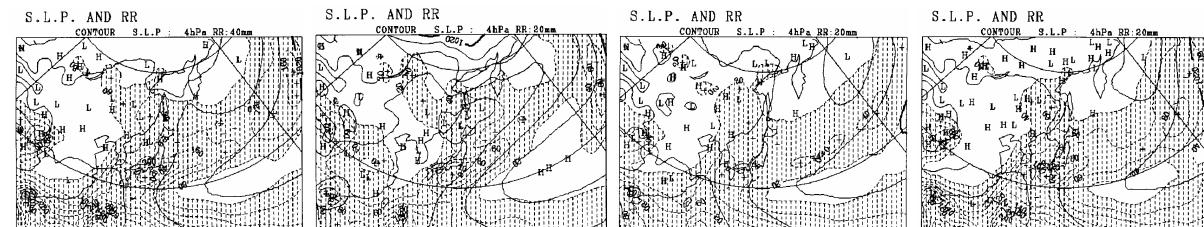
週別に見ると、1週目は、負偏差は北緯30°以北で広く東西に伸びている。2週目は月平均とほぼ同様。3~4週目は、太平洋高気圧は東日本まで張り出し、日本付近は正偏差となる。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧は本州の南まで張り出す。本州南岸にまとまった降水域が予想される。

週別に見ると、1週目は本州南岸にまとまった降水域が予想される。2週目はオホーツク海付近の気圧が平年より高くなる。まとまった降水域は見られない。3~4週目は、2週目と大きな変化はないが、まとまった降水域が本州南岸に予想される。

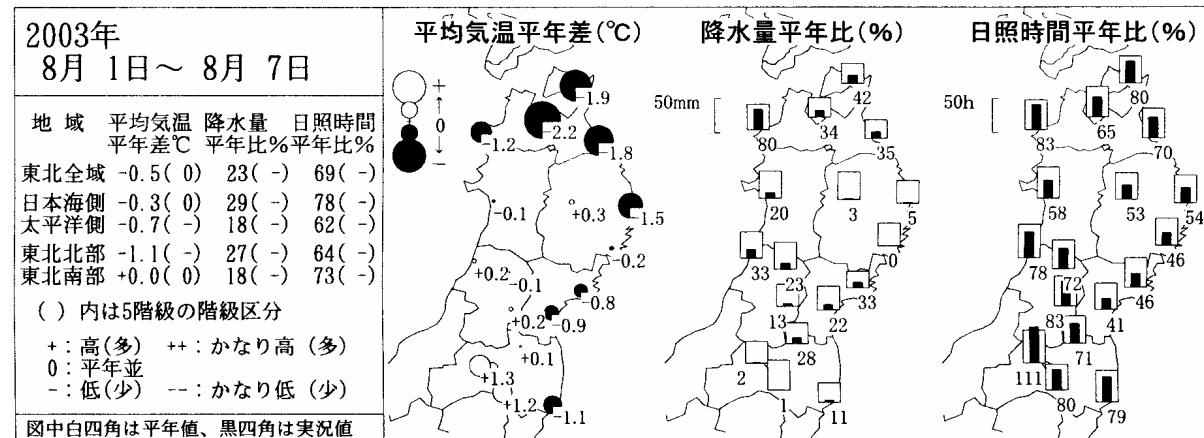


4. 最近1週間（8月1日～8月7日）の天候の経過

期間の初めは、高気圧に覆われ東北南部を中心に概ね晴れた。その後、前線や湿った東よりの風の影響で曇りや雨の日が多くなったが、天気の大きな崩れはなかった。

なお、東北南部は2日頃に梅雨明けしたとみられる。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は少ない。日照時間は少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)